

早明浦ダム再生事業環境モニタリング委員会 第5回委員会

早明浦ダム再生事業の概要と進捗状況

- 1.事業概要
- 2.事業目的
- 3.早明浦ダム再生事業のイメージ
(容量配分図・増設放流設備の必要性)
- 4.進捗状況
- 5.令和7・8年度の実施内容
- 6.工事と環境モニタリングの実施及び予定

令和8年9月11日

独立行政法人水資源機構
吉野川上流総合管理所
早明浦ダム再生事業推進室

1. 事業概要



放流設備の増設イメージ

○水系河川名

吉野川水系吉野川

○場 所

右岸:高知県 土佐郡 土佐町

左岸:高知県 長岡郡 本山町

○目 的

既設:洪水調節、流水の正常な機能の維持、
かんがい用水の供給、水道用水の供給、工業用水の
供給、発電

再生:治水機能を向上させ、吉野川の洪水による被害の軽
減を図る

○諸 元

既設:堤高 106m、総貯水容量 3億1,600万 m^3

再生:放流設備の増設、容量振替

○工 期 平成30年度～令和10年度

○総事業費

総事業費 約 500 億円

※令和6年8月19日 事業実施計画(第1回変更)認可

○令和8年度当初予算の概要【約 48.6 億円】

本体工事等

(堤体削孔,放流設備設置,減勢工構築,上流仮締切移設)

2. 事業目的

＜吉野川における治水事業の目標＞

①達成すべき政策目標

- 吉野川の治水安全度の向上

②具体的な達成目標(吉野川水系河川整備計画)

- 戦後最大流量を記録し、甚大な浸水被害を発生させた、平成16年10月の台風23号と同規模の洪水に対し、吉野川の氾濫による浸水被害を防止する。

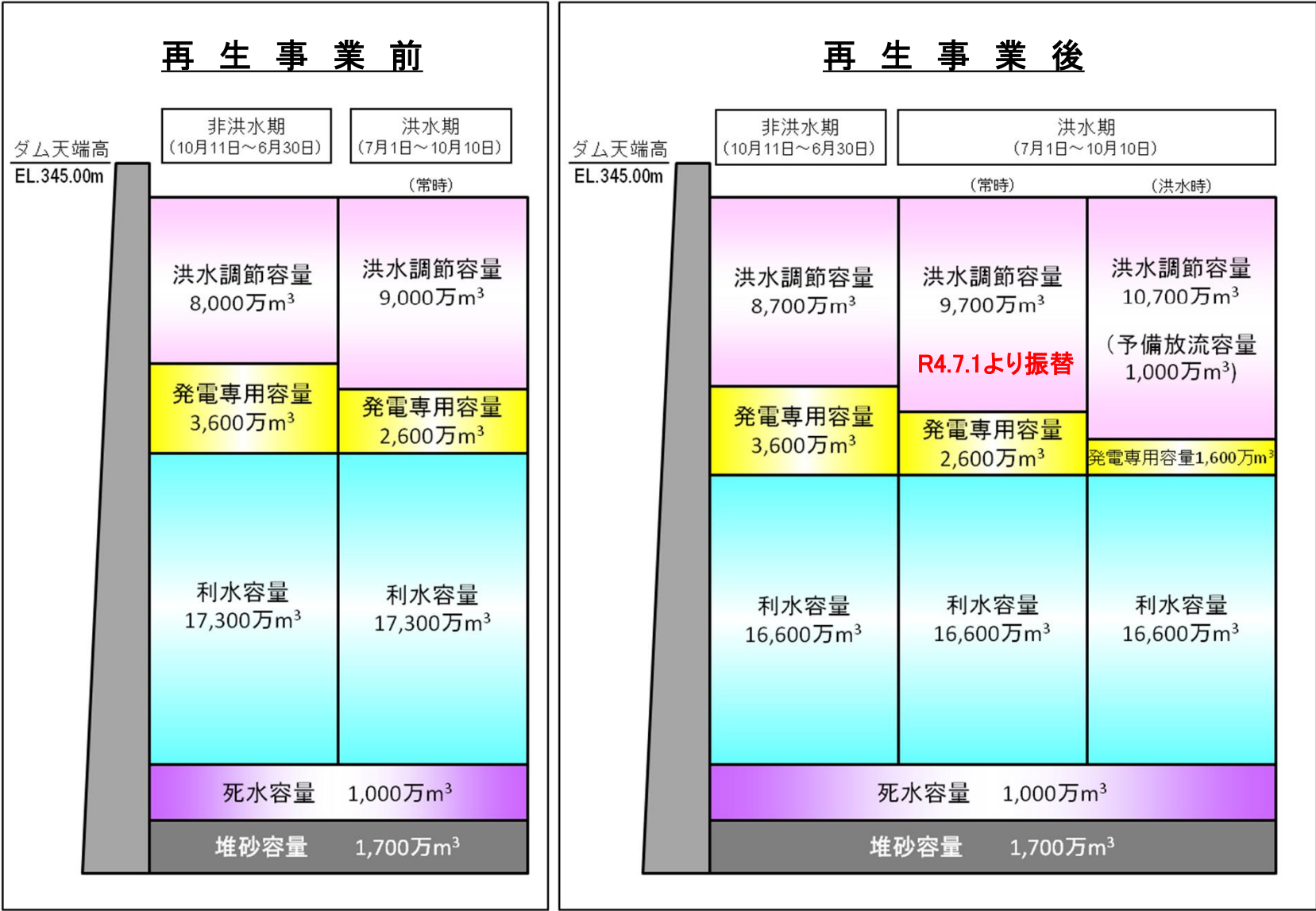
＜早明浦ダム再生事業の目的(事業実施計画)＞

③事業の目的

- 水の安定的な供給を確保することを目的として、「吉野川水系における水資源開発基本計画」に基づき整備した特定施設である早明浦ダムについて、治水機能を向上させる改築事業を行い、吉野川の洪水による被害の軽減を図る。

3. 早明浦ダム再生事業のイメージ（容量配分図）

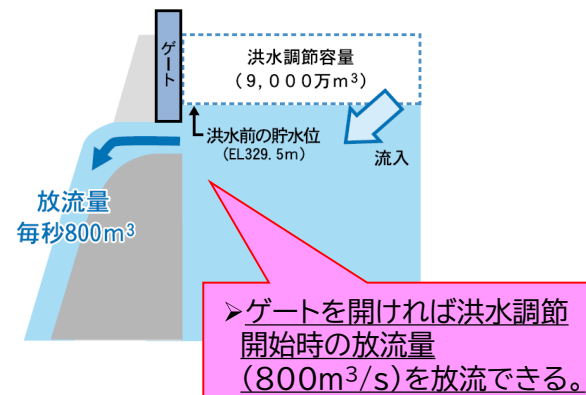
- 現状の利水安全度を確保しつつ、利水容量から洪水調節容量に振り替えることで容量を確保するとともに、予備放流方式の導入により、洪水調節容量を現行の9,000万 m^3 から10,700万 m^3 に増大させる。



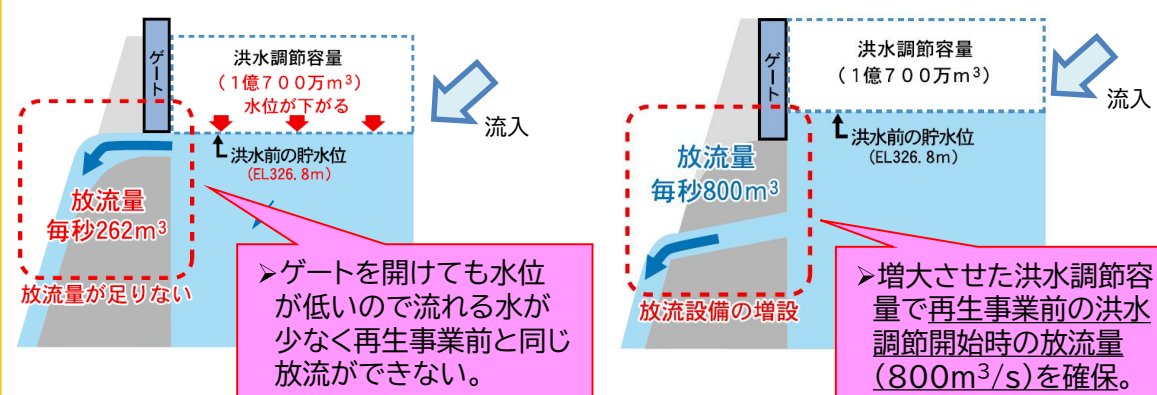
3. 早明浦ダム再生事業のイメージ（容量配分図）

- 予備放流を行い、増大させた洪水調節容量を活用するためには、現状より低い位置に新たに放流管を設置する必要がある。

再生事業前(現状)の放流イメージ

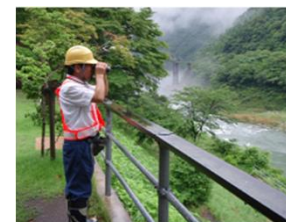
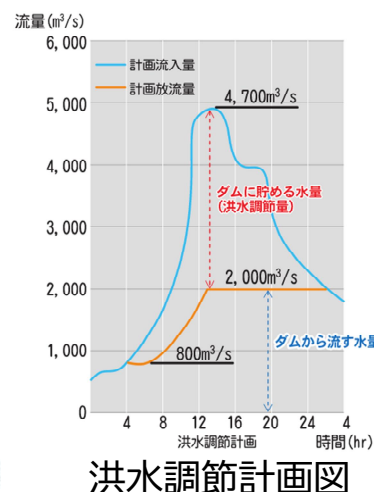


再生後の放流イメージ



増大させた洪水調節容量を活用するため、予備放流を行い、洪水になるまでの間、ダムに水を貯めないようにするため、低い貯水位でも放流できる設備が必要。

- ◆ 急激に河川水位が上がらないよう徐々に放流量を上昇させるとともに、関係機関に事前の情報提供を行い、早明浦ダムから池田ダム迄の区間でのサイレンと河川巡視をすることで河川利用者に対する注意喚起を行う。

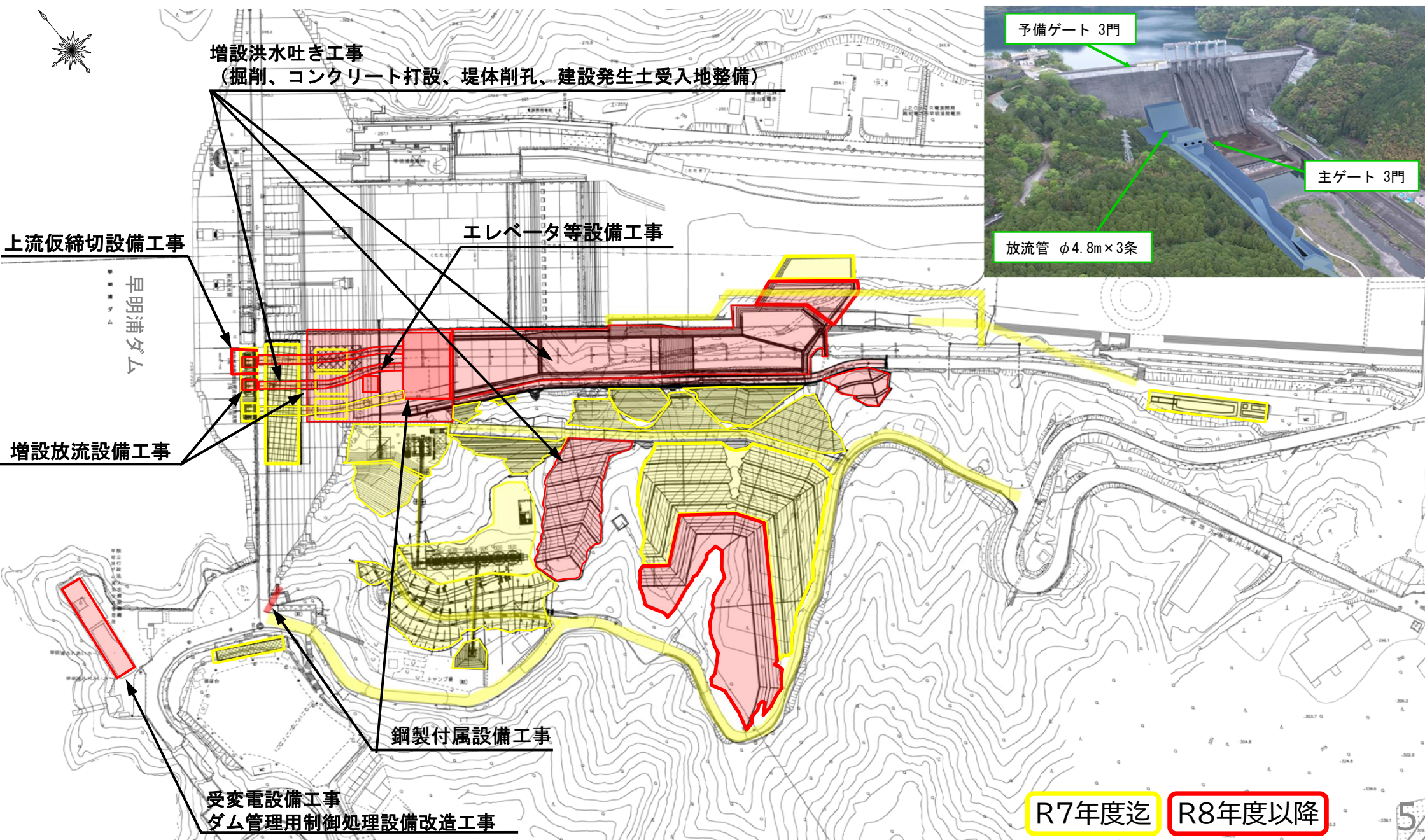


巡視による注意喚起
警報車等により巡視、河川利用者への注意喚起



サイレンによる注意喚起
警報局舎のサイレン吹鳴

4. 進捗状況



4. 進捗状況

撮影日: 令和8年7月10日



4. 進捗状況



〈コンクリート打設の進捗〉

総打設量	打設済みの量
約180,000m ³	約 74,600m ³

〈基礎掘削の進捗〉

総掘削量	掘削済みの量
約160,000m ³	約 122,000m ³

〈堤体削孔の進捗〉

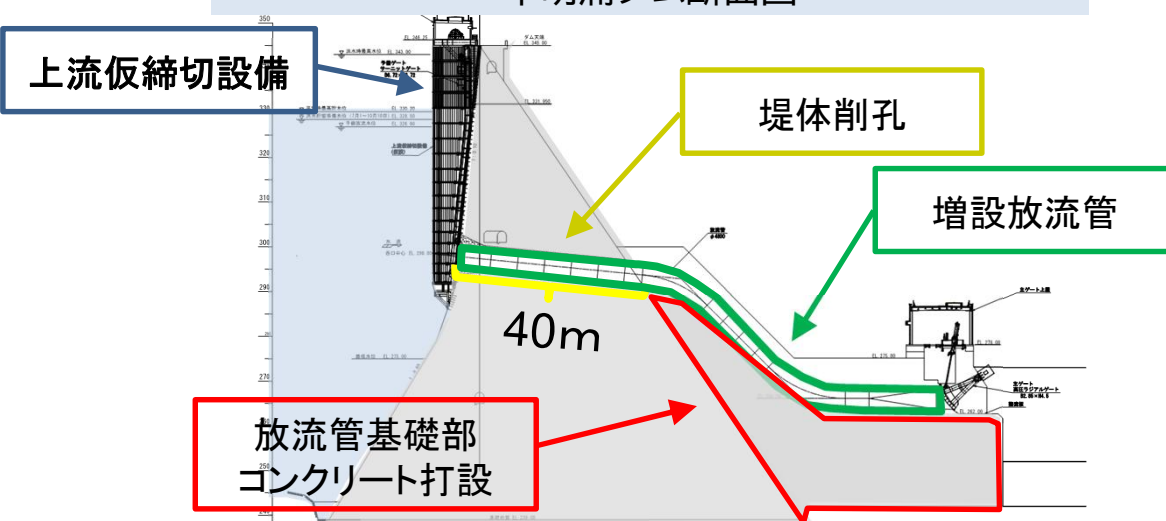
	削孔延長	削孔済の長さ
1号	約40m	約33m
2号	約40m	約40m (貫通)
3号	約40m	約40m (貫通)

〈放流管設置の進捗〉

	設置延長	設置済の長さ
1号	約118m	—
2号	約122m	約21m
3号	約119m	約119m

※R8.7末時点

早明浦ダム断面図



4. 進捗状況



令和6年8月



令和8年7月



上流仮締切内の様子
(上から見た写真)



令和7年5月

堤体削孔部に設置した3号放流管の一部
(堤体削孔の下流側から見た写真)



令和8年3月

5. 令和7年度の実施内容

➤ 令和7年度事業費・・・7,887百万円(予算額)

＜本体準備工事、本体工事等＞

① 増設洪水吐き工事、増設放流設備工事及び上流仮締切工事を実施。

＜設計・検討等＞

- ① ダム管理用制御設備の設計を実施。
- ② 事業後の跡地整備(原形復旧)の検討・設計を実施。
- ③ 基礎地盤検査に必要な資料作成を実施。

＜環境調査など調査＞

① 学識経験者からの指導、助言に基づき策定した環境モニタリング計画に基づき、環境モニタリングを実施。

本体工事



増設洪水吐き工事



増設放流設備工事



上流仮締切工事

5. 令和8年度の実施内容

➤ 令和8年度事業費 … 4,858百万円(予算額)

＜本体工事等＞

- ① 増設洪水吐き工事、増設放流設備工事及び上流仮締切工事を実施。
- ② 受変電設備、予備発電設備の製作を実施。

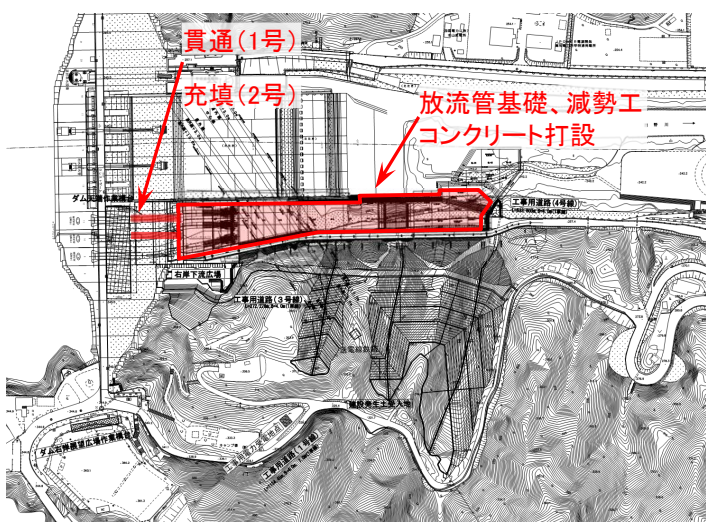
＜設計・検討等＞

- ① 事業後の跡地整備(原形復旧)の検討・設計を実施。
- ② 基礎地盤検査に必要な資料作成を実施。

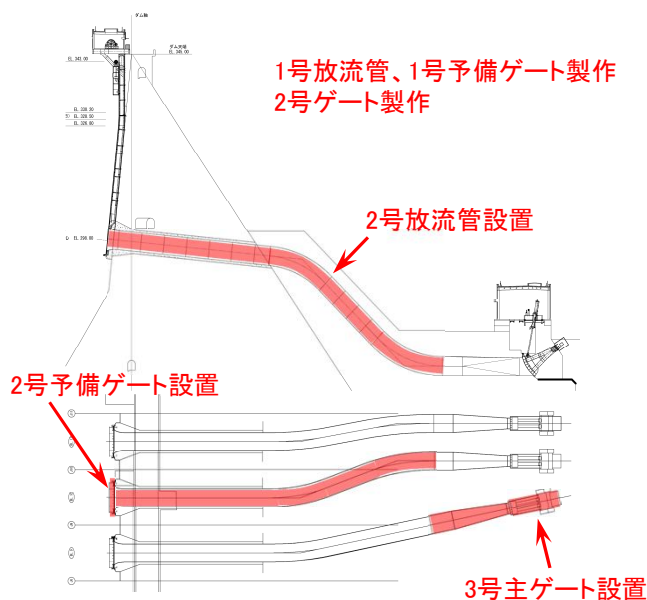
＜環境調査など調査＞

- ① 学識経験者からの指導、助言に基づき策定した環境モニタリング計画に基づき、環境モニタリングを実施。

本体工事



増設洪水吐き工事



増設放流設備工事



上流仮締切工事

事業影響予測範囲・モニタリング位置

環境区分	工事中の環境監視計画
大気質（粉じん）	粉じん 1回/月（降下ばいじん濃度計測）
騒音・振動	騒音・振動レベル 10分間隔自動計測 （騒音・振動レベル）
水質	SS、pH ・濁水処理装置内で水質を自動計測 ・自動計測、定期調査
動物・生態系	希少猛禽類：定点観測法
植物	生育状況確認：・年1回程度 ・残存する植物の生育状況確認 ・外来種の侵入状況記録
人と自然との触れ合いの活動の場	インフラツーリズムの開催

